

## 令和元年度 第1回よっちゃんばれ放談会 要旨

|         |  |
|---------|--|
| 日 時     | 令和元年7月16日（火）午後1時30分～午後3時30分  |
| 会 場     | 甲府市武田氏館跡歴史館 堀田古城園  |
| 参 加 者   | 各種団体代表者（6名）  |
| 市出席者    | 市長、教育長、教育部長、教育総室長、生涯学習室長、歴史文化財課長、市民部長、市民協働室長、協働推進課長  |
| 次 第     | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 市長あいさつ</li> <li>3 参加者自己紹介</li> <li>4 意見交換</li> <li>5 まとめ</li> <li>6 閉会</li> </ol>   |
| 意見交換    |  |
| 歴史文化財課長 | <p>本日の「よっちゃんばれ放談会」は、今年度の1回目として「昔と今をつなぐ街の創出」をテーマに、歴史・文学・観光・まちづくりなどに造詣の深い方々6名に参加していただき、樋口市長と意見交換していただく機会として開催いたします。</p> <p>はじめに、本日まで出席いただきました皆様から自己紹介をお願いします。</p> <p>はじめに、参加者 A さんお願いいたします。</p>  |
| 参加者 A   | <p>私は、就職してから甲府に住んで、今年で18年目になります。</p> <p>仕事は、学芸員として幕末明治以降の近現代の歴史を担当しており、山梨近代人物館の整備や山梨県立博物館での企画展において、甲府を中心とする山梨の近代史を掘り下げ、多くの人々へお伝えしています。</p> <p>甲府は、私たちが思っている以上にポテンシャルが高く、江戸時代から明治の地図を見ますと、甲府という文字が、名古屋、京都と同じくらいの大きさで書かれております。</p> <p>本日は、色々な方々のお話をお伺いしながら、勉強させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p> |
| 歴史文化財課長 | <p>続きまして、参加者 B さんお願いします。</p>   |
| 参加者 B   | <p>私は、甲府に生まれ大学は県外に出ましたが、現在は市内で暮しております。現在、学芸員として仕事をしておりますが、色々な雑務もあり、机</p>   |

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| <p>歴史文化財<br/>課長<br/>参加者 C</p> | <p>に向かっている時間がなかなか取れない状況です。</p> <p>この仕事は、色々な地域で色々な立場、年齢の方々と出会うことができ、お話をうかがうことができます。</p> <p>本日は、様々な分野の方々のお話を伺えることを楽しみにして参りました。よろしく願いいたします。</p> <p>続きまして、参加者 C さんお願いします。</p> <p>弊社は、新聞販売店でありまして、毎日新聞をお届けしております。</p> <p>私は、甲府生まれの甲府育ちでありまして、大学で県外に出ましたが、家業を継ぐため山梨に戻ってきました。戻ってきまして、こんなに住みやすい所はないなと改めて実感いたしました。</p> <p>また同時に、地域の方々が、色々な悩みを抱えていて、大変な思いをされていることも分かりました。</p> <p>新聞を毎日配達していますので、地域のことが大変よく分かります。独居の高齢者も増えており、孤独死される方も毎年数件発見したりもします。</p> <p>本日は、庶民の代表というような気持ちで出席させていただきました。よろしく願いいたします。</p>                       |
| <p>歴史文化財<br/>課長<br/>参加者 D</p> | <p>続きまして、参加者 D さんお願いします。</p> <p>平成 2 年、県外から現在の甲府市内の勤務先に赴任し、同年、まだバブル景気の余韻が残る中、甲府市に自宅を購入し、甲府市民として生活しております。</p> <p>大学で地理学を教えています。山梨県内の生徒が多いのですが、意外と山梨に興味のない生徒が多いです。どういうところから学生達に興味を持ってもらえるのか、いつも悩むところです。授業の中で、まったく甲府に詳しくなく、歴史にも興味がない学生に、どういう切り口で甲府を面白いところだと感じさせられるか、いつも悩んでおります。</p> <p>甲府は、全国で一番人口の少ない県庁所在地であり、尚且つ東京に近い、この二つがキーワードであると思います。大都市とこれだけ近いのですが、大都市とこれだけ違う風景がここにはあります。それから 47 都道府県の中で一番小さいけれど、全てが揃っている県庁所在地であります。小さいけれども大都市とのコントラストが非常に興味深いこの甲府を、もっと色々な形で興味を持たせることが出来ないかといつも思っております。</p> <p>本日は、よろしく願いいたします。</p> |
| <p>歴史文化財</p>                  | <p>続きまして、参加者 E さんお願いします。</p>  |

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| <p>課長<br/>参加者 E</p>           | <p>この地区は、相川地区といいまして、躑躅が崎館と要害山の間川が流れていますが、昔は、あいだ川と呼ばれており、現在は相川と呼ばれるようになったことが地名の由来のようです。</p> <p>この相川地区に育って70年になりますが、この地域の魅力など、これまであまり考えたことがありませんでした。今年は「開府500年」ということもあり、今回の「よっちゃばれ放談会」に参加することで、甲府の魅力について考える、いいきっかけになればと思います。</p> <p>今日は、皆さんの意見を十分聞きながら、ふるさと再発見ではありませんが、甲府再発見、相川再発見を行いたいと思います。</p> <p>本日は、よろしく願いいたします。</p>  |
| <p>歴史文化財<br/>課長<br/>参加者 F</p> | <p>最後に、参加者 F さんお願いします。</p> <p>私は、長野県出身で、20数年前に現在の会社に入社し、甲府支店に配属となりました。これまでに、転勤は2回しかしておりません。一度、甲府支店を出てから長野県で勤務し、5年ほど前に甲府に帰ってきました。</p> <p>今、甲府市がおかれている状況につきまして、人口という面からお話させていただきますと、修学旅行を扱っている会社になりますので、生徒数の減少がみられます。</p> <p>今日の議題でもあります「故郷が好きなまちを創る」ということで、郷土愛ということにテーマをおきながら、今まで旅行会社は山梨県もしくは甲府市から外へ出る旅行を取り扱ってきました。地域誘客ということで、地域が元気にならなければ県民市民が元気になれない、更に旅行に行かれる方も減るという流れの中で、我々ができることは、地域の活性化、地域を元気にするという、地域に如何に人を呼ぶかということを進めていこうということで、近年インバウンド、アウトバウンドの両方に力を入れて進めていくことを考えております。</p> <p>本日は、よろしく願いいたします。</p> |
| <p>歴史文化財<br/>課長</p>           | <p>それでは、意見交換に入らせていただきます。</p> <p>最初のテーマは「甲府が誇れる魅力について」です。このテーマにつきましては「自然・災害」、「文化・教育・娯楽・食べ物」、「まち・道・建造物」の3つの視点から、それぞれご意見をいただき、その後、樋口市長よりコメントをいただきます。</p> <p>始めに「自然と災害」の視点から、ご意見を伺います。</p> <p>参加者 D さんお願いします。</p>  |

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| <p>参加者 D</p>                  | <p>甲府市は、二千メートルを超える山々や、扇状地、丘陵地、沖積低地まで様々な地形条件をもって広がっており、全国的にも注目され甲府市の特徴でもあると思います。</p> <p>もう一つこれに加えて、フォッサマグナについてですが、今の説によると御坂山系と伊豆半島がぶつかった力により、北に向かって押されているとか、盆地も毎年沈んでいるなどの話もあり、私自身たいへん興味を持っております。このように日本列島全体のなかで、非常に大きな動きがあり、ずっと深いところで日本列島の核となるような動きの中心が、甲府盆地にあります。</p> <p>ただ自然が美しい、峡谷がきれいだというだけでなく、このような内容を付け加えることもできるのではないかと思います。</p>   |
| <p>歴史文化財<br/>課長<br/>参加者 E</p> | <p>続きます、参加者 E さんお願いします。</p> <p>私達の地区におきまして、毎年 6 月に「ホタル祭り」を行っております。ホタルは、環境面でのバロメーターといわれていますので、生息しているということは、環境が良いところであるといえると思います。</p> <p>東京に住んでいる方が甲府に来て泊まりますと、緑も多く高い山もたくさんあり、朝起きてすがすがしい気持ちになれるといわれます。このような事も一つの魅力ではないかと思います。</p> <p>また、私達の地域でもそうですが、現在、空き家が非常に多く、耕作放棄地も多くなってきております。東京などから来ても自家栽培で野菜などを育てることができたり、最近ブームになってはいますが、田舎暮らしもできます。これも一つの魅力ではないかと思います。</p> <p>山梨県は、健康長寿日本一だと言われてはいますが、この地域でも非常に元気なお年寄りの方が多く、グラウンドゴルフを行ったり、野菜をつくったりと毎日元気に暮しています。</p> <p>また、教養を高めるということが、長生きにも健康にも通じると言われていますが、甲府には図書館が 2 カ所あり、身近で教養を高めることができます。</p> <p>災害につきましては、過去に台風による被害や大雪による被害を受けましたが、比較的災害が少ないのではないかと思います。総合的にみて住みやすい所であり、魅力ではないかと思います。</p> <p>続きます「文化・教育・娯楽・食べ物」の視点から、3 名の方からご意見を伺います。</p> <p>はじめに、参加者 A さんお願いします。</p> |
| <p>歴史文化財<br/>課長</p>           |   |

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| <p>参加者 A</p>                  | <p>甲府は、洋酒文化の先進地であり、これが強みであると思います。具体的には、ワイン醸造は日本初で、山田宥教・詫間憲久によるものです。ビール醸造は日本人によるものとしては日本で 2 番目であり、東京・横浜よりも早かったことから、東日本で初ということでもあります。このように地域の特性を生かし、新しい事業にも取り組まれています。</p> <p>教育分野に関しましては、江戸時代において、山梨大学の前身であります徽典館が開設されています。本県出身の近代郵便制度を開始した杉浦譲をはじめとする優秀な人材を輩出しました。また、甲府の庶民も学ぶことができたということで、教育文化の面でも伝統的なものがあり、甲府の誇れるところではないかと思います。</p>  |
| <p>歴史文化財<br/>課長<br/>参加者 F</p> | <p>続きまして、参加者 F さんお願いします。</p> <p>甲府市には、山梨県立美術館、山梨県立文学館、山梨県立科学館、甲府市遊亀公園附属動物園などの施設もあり、文化的な施設が備わっていると思います。幼少期から、文化的な財産と触れ合うことができ、また、観光客を呼べるポテンシャルも高く自信を持っていいのではないかと思います。</p> <p>地域への誘客を考えますと、これからは「体験」がキーワードになっていくだろうと思います。観光客に、アンケートを取ってみますと、どこへ行って何をするといったことが、大きなウエイトを占めてきていると認知しております。</p> <p>山梨県を訪れる外国人観光客は、全国で 12 位であり観光客数は多いのですが、観光客の消費する額については、46 位ぐらいであります。お金を落としてもらえるお土産など、まだまだアピールできる要素があるのではないかと思います。今後、如何にアピールを行っていくかがポイントになると思います。</p> |
| <p>歴史文化財<br/>課長<br/>参加者 B</p> | <p>続きまして、参加者 B さんお願いします。</p> <p>甲府市の魅力的な場所の 1 つに「芸術の森公園」があります。</p> <p>ここは、6ヘクタールの広大な面積の公園に、文学館と美術館が隣接して建っていることが一つの特徴であり、その建物を取り巻くように 3万8千本の樹木と 18万株の草花が色とりどりの花を咲かせています。春の桜から始まり、秋の紅葉まで四季折々多くの方に楽しんでいただける公園になっております。</p> <p>公園周辺の皆さんも散歩コースとして利用しており、地域からも愛され</p>   |

|                            |   |
|----------------------------|---|
|                            | <p>ている場所になっております。また、秋の展覧会などの際には、東京や神奈川から日帰りで来るお客様も多く、一日公園の中でゆったりとした時間を過ごされていけます。</p> <p>文学館、美術館での展覧会や貴重な資料があるなどの情報を発信するだけでなく、何十年もかけて美しい景観になった芸術の森を、今後も発信していくことが大事であると思います。</p>  |
| <p>歴史文化財<br/>課長</p>        | <p>最後に「まち・道・建造物」の視点から、ご意見を伺います。<br/>参加者 C さんお願いします。</p>   |
| <p>参加者 C</p>               | <p>私は、旧町名を復活させたいとっていて、甲府の歴史などについて調べています。</p> <p>現在の甲府市は、空襲で焼け野原になり、戦後、当時の方のご尽力により復興された街だと思います。現在では、色々な設備も整っており、住みやすい街であると実感しています。</p> <p>社会問題でもありますが、ソフト面において時代の変化に追いつけていないのではないかと感じます。一番多いと感じるのは、交通弱者であり、自宅から少し離れてしまうと買い物にも行けないような方を見かけるが増えています。</p> <p>ハード面においては、一通り揃っていると思うので、社会的な弱者が暮らしやすい環境、ソフト的な部分を充実していくことが急務であると思います。</p> <p>個人的な意見としましては、ボロ電が復活して欲しいとっていますが、なかなか復活は難しいと思いますので、レトボンのような、ボロ電をイメージできるようなバスを巡回させ、高齢者の方にも気軽に利用できる環境を進めていただけたらと感じています。</p> |
| <p>歴史文化財<br/>課長<br/>市長</p> | <p>ありがとうございました。それでは、樋口市長コメントをお願いします。</p> <p>参加者 D さんの小さい街だけれども魅力が全部詰まっているというお話ですけれども、更に甲府の魅力を発信していかなければいけないと思います。</p> <p>本年6月に、金峰山などの山々が連なる奥秩父主稜を中心としたエリアが、「甲武信ユネスコエコパーク」に認定されました。</p> <p>甲府盆地は、南は富士箱根伊豆国立公園、富士山は世界文化遺産、西は南アルプス国立公園、南アルプス連峰、少し北には八ヶ岳中信高原国定公園、秩父多摩甲斐国立公園など世界に認められる日本一級の山々に囲まれていますので、こうした甲府の魅力ある情報を再度アピールしていくこと</p>   |

|                     |   |
|---------------------|---|
| <p>歴史文化財<br/>課長</p> | <p>が、今後のリニア時代に向けて必要ではないかと思えます。</p> <p>これからは、リニア、中央線と二本の動脈が通ることになりますので、都会の大きなエネルギーを呼び込んでいけたらと思えます。</p> <p>また、本市におきましては、ワイナリーが4社しかありませんが、現在、甲府で300店舗以上の飲食店でワインが提供されています。つまり、甲府に来れば山梨の美味しいワインを全部飲むことができます。このような魅力も発信していくことが私達の役割であると思っています。</p> <p>観光客の消費につきましては、一泊していただけるように富士山を訪れる観光客を甲府盆地に呼び込まなければならないと思えます。笛吹市は、河口湖の観光協会との提携を図っていますが、富士山に来ていただいた方々に、甲府に来てワイナリーや観光地を回ってもらうといったことを更に力を入れていきたいと思っています。</p> <p>本市では、「日本ワインの発祥の地」として開府500年を記念し、オール甲府市産のスパークリングワインを商品化しました。また、サントリーさんのご協力をいただきまして、開府500年を記念した限定ラベルの瓶ビールも出しました。</p> <p>災害に強い街づくりにつきましては、市内の全自治会を回り防災研修会を開催しました。併せて「甲府市洪水ハザードマップ」を改訂したことから、市内各地において説明を行っております。</p> <p>また、本市は、図書館や美術館が人口当たりにすると非常に多く、誇れることであると思えます。山梨県立美術館があります「芸術の森公園」は、景観も良く地元地域の方々にもたいへん喜ばれていますし、色々な形で活用しております。</p> <p>人口減少と少子高齢化につきましては、地方都市の最大の課題であり、公共交通の件に関しましても大きな課題であると思えます。ボロ電の復活は、なかなか難しいと思えますが、リニアのアクセスとしても自動運転などの技術開発が一般的になるのではないかと思えます。自動運転が新たに市民の皆さんの移動手段としてなりうるのか、真剣にスピード感をもって検討を行う必要があると思えます。</p> <p>甲府駅が整備され、甲府駅の北口と南口を拠点として新たなまちづくりの活性化も図られるようになり、舞鶴小学校の児童も増えている状況です。</p> <p>また、空き家を改修して提供する助成制度をはじめ、未来に繋がるような事業を市民の皆さんにお示しながら展開し、暮らしやすいまちづくりを進めていきたいと思えます。</p> <p>次のテーマに入らせていただきます。「甲府が築いてきた歴史の継承」です。このテーマにつきましては、3名の方からご意見をいただきます。はじめに、参加者Fさんお願いします。</p> |
|---------------------|---|

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| <p>参加者 F</p>                  | <p>甲府の歴史を多くの方々にお伝えし、次世代に伝えていくためには、ということで仕事柄誘客の意味で捉えまして、その観点からお話をさせていただきます。</p> <p>今年は開府500年、私ももっと誘客に尽力しなければならないと思っております。来年のオリンピック、2年後の信玄公生誕500年という一つの流れを繋げていけるよう、県外の方々に認知度を上げていかなくてはならないと思います。</p> <p>私は、信玄公生誕500年は、他都市と比較して絶対にチャンスだと思っています。何故なら歴史の英雄であり、全国に歴史好きな方は多く、ファンも沢山いるからです。</p> <p>そういう部分でどのように認知度を上げていくかを、今から考えておかないと間に合わなくなってしまうと思います。</p> <p>甲府市に来ていただくには、興味、関心を引くためのイベントは必要であり、信玄公生誕500年をイベント化すれば、間違いなく観光客は増えると思います。</p> <p>また、その目的を広く周知させるためには、海外の例でお話させていただきますと、中国、韓国、台湾、タイなどから訪日者が増えています。これからは、経済成長率が伸びている他の国々に対しても、甲府に来たらこんなことができるということを手先必勝で最初にアピールしていくことが大切だと思います。そうしますと「聖地」として周知されるので、信玄公生誕500年をオリンピックから続く形で盛り上げていくことが誘客に繋がるのではないかと考えます。</p> |
| <p>歴史文化財<br/>課長<br/>参加者 D</p> | <p>続きまして、参加者 D さんお願いします。</p> <p>今、認知度というお話が出ましたけれども、小、中、高の時代に甲府の学校において、もう少ししっかりと甲府の戦国時代と江戸時代の歴史について、面白い方向で広めてもらえたら有難いと思います。</p> <p>仕事柄、教科書をよく見ますが、高校の教科書で信玄公が出てくるのは群雄割拠の戦国大名の一人ということで、具体的な記述は長篠の合戦のみ、中学の教科書になりますともっと簡単で、織田信長と戦った人という言葉だけです。</p> <p>中央の歴史との兼ね合いで信玄公が前面に出てくるのは難しいですが、少なくとも甲府の小中学校では、彼がどういったことを行い、最後はどうだったということを伝えておけば、それが今の何処に引き継がれているのかという視点を子ども達がもってくれると思います。</p> <p>歴史的事実は、覚えなければならないということから嫌われる科目となってしまうがちですが、面白いストーリーであれば子ども達は興味を持っ</p>  |

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| <p>歴史文化財<br/>課長<br/>参加者 E</p> | <p>てくれますから、甲府の小中学生は、郷土に誇りを持てる教育を受けて欲しいと思います。</p> <p>もう一つキーワードですが、中世と近世の甲府市街は、少し中心がずれて重なっていますが、元々街の規模が小さいため、両方の道割りや地名が残っているという珍しい街だということです。他の城下町起源の土地とは違う、甲府の光るところですので、こういったところを前面に出したPRが重要ではないかと思います。</p> <p>続きまして、参加者 E さんお願いします。</p> <p>開府 500 年事業の 1 つに、「私の地域・歴史探訪事業」があります。この事業は、自治会連合会の地区ごとに、歩きながら自分達の住むまちの歴史を学ぶ事業であり、相川地区では武田神社、護国神社、円光院、信玄墓所、河尻塚などを回りました。当初は人が集まるのか不安でしたが、200 名の参加がありました。歩きながらなので健康にも良く、楽しみながら歴史を学べるということで、お子さんも含め多くの方々に参加していただけました。</p> <p>河尻塚は、あまり有名ではありませんが、織田信長が武田氏を滅ぼした後、家臣の河尻秀隆が甲斐の領主となったわけですが、彼は信長の威光を笠に圧政を敷いたため、本能寺の変で信長が死亡すると旧武田家家臣達によって殺され、さかさまに埋められたことから、さかさ塚とも呼ばれています。</p> <p>こういった史跡を巡ることで、当時の文化だけでなく、悪事を働くといずれ自分に帰ってくるという人生訓も学ぶことができます。</p> <p>相川地区だけでなく、甲府市内全域で「歴史ウォーク」を継続していくことが、甲府の歴史の継承に繋がっていくのではないかと思います。</p> |
| <p>歴史文化財<br/>課長<br/>市長</p>    | <p>ありがとうございました。それでは、樋口市長コメントをお願いします。</p> <p>参加者 F さんのお話の通り、信玄公生誕 500 年の準備を早くしないと間に合わないという思いがありまして、県に呼びかけを行い、来年 4 月に実行委員会を立ち上げるための準備が進んでいます。</p> <p>中央線沿線には武田家ゆかりの歴史、観光資源が沢山ありますので、生誕 500 年の冠を付けて、今まで以上に特別な記念事業を行っていったらどうかと提案をしているところであります。</p> <p>開府 500 年で申しますと、武田家は 70 年位で終わってしまいましたが、一番長いのは小江戸と言われた江戸期でその後、明治、大正、昭和と続くわけですけれども、それぞれに素晴らしい歴史があります。</p>   |

|                |   |
|----------------|---|
|                | <p>参加者Dさんもおっしゃっていましたが、子ども達には、郷土の歴史をしっかりと楽しく教えることが重要であると思います。そのためには、この信玄ミュージアムもそうですが、大村先生の記念館、近代人物館やジュエリーミュージアム、山梨中央銀行資料館など市内には素晴らしい施設が沢山ありますので、これらをリンクして色々なメニューを増やしてしていくことが大切だと思います。</p> <p>10月には、ジュエリーの関係でタイのバンコクに行きますが、甲府駅前にありました「宝石の街甲府」のオブジェを復活させることになりました。この秋に完成する予定ですが、富士山に来ていただいた方々にこちらまで足を伸ばしていただくためにも「宝石の街甲府」をもっとアピールしていかななくてはなりませんので、皆さんのお知恵をいただければありがたいと思っています。</p> <p>参加者Eさんもおっしゃっていましたが、「私の地域・歴史探訪事業」につきましては、ありがたいことに全ての自治会連合会に実施していただきました。また、地区ごとに街の歴史をまとめた小冊子を作っていただきまして、私も公用車で移動中に愛読しております。歴史の継承という意味では、非常に良い事業であったと思いました。</p>  |
| <p>歴史文化財課長</p> | <p>最後のテーマになります。「これからの甲府の昔と今をつなぐ街づくり」についてです。3名の方からご意見をいただきます。</p> <p>はじめに、参加者Bさんお願いします。</p> <p>参加者B</p> <p>山梨県立文学館で、今年の4月27日から6月23日まで特設展「太宰治 生誕110年 作家をめぐる物語」という特設展を開催しておりました。当初5千人程の来場者数を見込んでいましたが、多くの方々にお越しいただき最終的に7千人もの来場者がありました。</p> <p>ご存知かもしれませんが、甲府市内には太宰ゆかりの地が数多く存在しています。甲府駅北口から歩いて5分のところに妻：石原美知子の実家、そこから朝日町を挟んで歩いて5分くらい北西に行きますと、結婚までの1カ月半を過ごした下宿「寿館」、そこからさらに北西に行きますと、新婚時代の8カ月間を過ごした貸家がありました。旧町名で言いますと御崎町というところで、甲府一高の東側になります。そこから50メートル程東に行きますと、太宰が通った銭湯「喜久乃湯」が現在も営業中です。そこからさらに北東に5分程歩きますと、北東公民館がありますが、この辺りに甲府空襲で妻の実家が焼失した後、2週間程お世話になった「大内家」の家がありました。</p> <p>今、申し上げた5カ所を繋がると、甲府駅から徒歩1時間位で周ることができ、参加者Eさんがおっしゃられた歴史ウォークができる場所であ</p> |

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| <p>歴史文化財<br/>課長<br/>参加者 C</p> | <p>ります。このエリアを「文学散歩」というかたちで打ち出していけば、県内外の方々にアピールできるのではないかと思います。そのために必要なのが「案内板」だと思います。</p> <p>太宰が新婚時代を過ごした貸家跡に、小さな碑が建っていて、その1カ所がかろうじて太宰ゆかりの地と分かる場所です。甲府市でそういった場所に案内板を建てていただきますと、外から来ていただいた方々には分かりやすく、地元の方々には代々そこに住み続けるということが少なくなっていますので、「水門町」、「御崎町」、「白木町」といった旧町名の街並や生活状況を知る良い機会になろうかと思います。また、ささやかではありますが、この文学散歩が観光資源として有効に機能してくれるのではないかと思います。</p> <p>続きまして、参加者 C さんお願いします。</p> <p>今後、地方都市はコンパクトシティ化していくという流れがあると思いますが、コンパクトシティという言葉を知ると、私は小江戸と呼ばれた昔の甲府を思い浮かべます。</p> <p>個人的には開府 500 年の歴史の中で、その時代に興味を持っていて、特に柳沢家が治めていた時代、甲府がもの凄く活気があったということを知りました。その時代にこれからの甲府をつくっていくヒントがあるのではないかと考えています。</p> <p>先程、高齢者の方々の問題についてお話させていただきましたが、子ども達に関しても孤食や虐待などの問題があるかと思います。</p> <p>報道などでご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、夏休みに入ると家でごはんが食べられないから、フードバンクで食料を送りたいが全然集まっていないという問題です。</p> <p>本当にそういうお子さん達が沢山いて、私達も地域で子ども食堂を運営している方々に支援金や食料を寄付したりしていますが、一番ポイントになるのが高齢者にしても子どもにしても、地域との繋がりがどうかということかと思います。</p> <p>孤独というのは一番つらいことで、避けていかなければならないことですが、従来は自治会があって、お祭りや運動会など地域の行事などでコミュニケーションを深めていったのだと思います。しかしながら昨今、自治会や民生委員の高齢化や担い手不足もあり、地域の実情を把握しきれていないのが実情です。</p> <p>今後、甲府市が良い街づくりを目指すのであれば、地域との繋がり、コミュニケーションがしっかりあって、住みやすい街になっていくという状況をつくっていくことが大切だと思います。そのためには、「気軽に徒歩</p> |
|-------------------------------|--|

歴史文化財  
課長  
参加者 A

で出かけられる街」になれば、地域との繋がりも出てくるであろうし、子ども達や高齢者も出かけやすい状況が生まれ、かつての小江戸ともリンクしてくるのではないかと思います。

なかなか難しいことだとは思いますが、良い街づくりのビジョンを市民の皆さん一人一人が考えて共有できる状況を作っていくことが理想的ではないかと感じました。

続きまして、参加者 A さんお願いします。

先程、参加者 F さんがおっしゃっていましたが、開府 500 年、信玄公生誕 500 年というタイミングの中で、どのように発信をしていくか、私達の方でも考えていかななくてはいけないと思います。

先日インターネットで、岐阜と長野の県境の馬込峠を歩く人の 6 割が外国人ということを知りました。非常に驚きましたけど、そこにしかないものを目指してやってくる人達が大事なのではないかと思います。

先程甲府の歴史と文化は非常に個性的というお話をしましたが、そういったところを PR していくことが息の長い、甲府の評判に繋がっていくのではないかと思います。

武田家が滅亡してから約 430 年余り、この中で人々がどのようにこの地域をつくっていったのか、そうした中に必ず多くのヒントがあるのではないかと思います。

甲府徳川家から第 6 代、7 代将軍を輩出していますが、かつての屋敷、今の浜離宮ですけど、当時は甲府浜屋敷と呼ばれていました。このことから江戸時代において甲府は非常に重要な所だったことがうかがい知れます。こうした徳川の時代からも色々な魅力がまだまだ発掘できるのではないかと思います。

私の専門は近・現代ですけど、甲府にとって大きな出来事といえば、甲府空襲です。江戸期の城下町の上に明治の人達がモダンな息吹を入れてモダンとレトロが混ざった街が、空襲によりほとんど喪失してしまいました。

昭和 24 年に甲府会館ビルで市制 60 周年を記念して功刀亀内氏所蔵の甲州文庫の展示会を行ったわけですが、この時は 10 日間で 10 万人が集まったということです。失われたと思われていた甲府の歴史を振り返れるとのことで、多くの人達が集まってきた訳ですが、私達の地域の歴史、文化を知ることは非常に大事なことだと教えてくれる気がします。

県立博物館でも色々地域の展示会をやってきましたが、信玄公、富士山以外は地元の関心が薄いと思います。食文化やワインの展示会も行いましたが、地元の意見を聞くと、「どうせ、大した物はないから」、とか「もう知っているから」という意見が非常に多いです。

|                     |  |
|---------------------|--|
| <p>歴史文化財<br/>課長</p> | <p>私達が持っている甲府の魅力というものを、私達自身が無自覚な部分が少しあるのかと思いますが、県外の人にとって「甲府って面白いな」と思えるところがまだまだ身近にあると思いますので、こうしたことを掘り起こして発信していくことが必要ではないかと感じています。</p> <p>それでは、最後にまとめとして、樋口市長から本日の意見交換の感想をいただきたいと思います。</p>   |
| <p>市長</p>           | <p>「昔と今をつなぐ街の創出」をテーマに皆様と意見交換をさせていただきました。本当に魅力の多い街であるとともに、未来を担う子どもたちへの郷土教育の重要性を再認識する機会となり、非常に有意義な機会となりました。</p> <p>歴史・観光面においては、サイン計画、案内板も必要ですから見直しを行いながら新しくしております。</p> <p>また、こうふ開府 500 年事業の一環として、「山の都 こうふ」の魅力を発信する好機と捉え、「甲府名山」25 山が選定されました。多くの皆さんに来ていただき、甲府を楽しんでいただきたいと思います。</p> <p>現在の甲府市中心部は、駅を中心に賑わいが戻ってきております。地価も徐々に上がってきており、通行量も増え、マンションも増えてきておりますが、空き家も増えている状況です。自治会活動については、なかなか厳しい状況ではありますが、地区のお祭りなどの行事や自治会活動が今後に残っていくように、バックアップを行っていかねばならないと改めて感じました。</p> <p>コンパクトシティにつきましては、歩いて生活できるエリアに公共交通をプラスして、次の広い活動エリアへと繋げていくことが、これからは必要になると思いますので、市民の皆さんにもアピールし、ご協力いただきたいと思います。</p> <p>先日、全国食育推進大会が、アイメッセ山梨と甲府駅北口よっちゃばれ広場で開催されましたが、非常に多くの方が来場され、郷土食を食べていただき、ワインや日本酒なども購入されていられました。</p> <p>また、今年は 8 月 10 日、11 日の 2 日間にわたって小江戸こうふの夏祭りが、第 4 回「山の日」記念全国大会と同時開催されますので、ぜひお越しいただければと思います。</p> <p>近々、山梨県がワイン県宣言を行うということを聞いておりますので、甲府市といたしましても今後もアピールを行っていききたいと思います。</p> <p>今年は開府 500 年当年でありますので、小江戸こうふの祭りや、秋には将棋の竜王戦が甲府市の常盤ホテルで行われるので、これに併せて将棋ファンの方々に大勢来ていただけるように、将棋祭りを開催する予定であり</p> |

ます。12月21日には、「こうふドリームキャンパス・スペシャル」ということで、大村智先生の講演会も予定しております。色々なイベントを計画し開府500年を祝い、未来に繋げていきたいと思ひます。

これまでにまいてきた種を、芽が出るよう未来に繋げていくのが役割であると思ひますので、今後もご指導をいただければありがたいと思ひます。

本日は、ありがとうございました。